

1 学期の初めに扱う教材のため、できるだけ「やさしい」日本語で記述しました。本教材4頁の説明もぜひお読みください。

歴史総合 Ⅰ. 産業革命 ワークシート

Industrial Revolution

① → () 月 () 日 () 年 () 組 名前 ()

② → 考えよう

- Q1: 産業革命って、何？
 Industrial Revolution
 Q2: 産業革命はなぜイギリスで始まったのか？
 Q3: 産業革命は、社会や生活をどう変えたか？

③ ↓

【1】産業革命→現代の世界に変わるきっかけ
 契機 trigger

	産業革命の前 (before)		産業革命のあと (after)
1. 作る	家で手で作る		工場で機械で作る factory machine
2. 移動する move	(歩く、馬車)		鉄道や車 railroad car
3. 住む live	⑥ → 農村 farming village	→	都市がでける city
4. 生活 life	太陽の動きと天気 ^{天気} で決める the sun weather decide		(時間、時計)
5. つきあい acquaintance	地域の人をみんな知っている community residents		(知らない人)

Q1: 産業革命って、なに？
 Industrial Revolution

↑ ⑦

工場^{工場}で機械^{機械}で作るようになって、生活や社会が変わった。←

④ ↓

【2】産業革命の流れ/動き
 Industrial Revolution process

(1) きっかけ

契機 trigger
 ① 始めた国: (イギリス)
 England

② アジア貿易^{貿易}でインドの (綿織物) を買った。
 cotton fabric

③ 自分の国で作り^{作り}たい→インドより安く^{安く}作り^{作り}たい。
 cheap

かる 軽く = うつく 美しい = にんき 人気 しょうひん 商品
 light beautiful popular product

日付や名前—プリントを授業の都度、配付すると、整理できない生徒が多いので、必ず記入させる。 ①

考えよう—この単元で考えてほしい基本的な課題。JSL 生徒が理解できたことをまとめて書く欄が設けてある。本単元では、ワークシートの①頁と4頁にある。→「はじめに0-1 歴史総合について」4頁「(3)-1.授業用教材-「3.1 ワークシート」③参照 ②

【1】産業革命→現代の世界に変わるきっかけ
 この部分—特に「産業革命の前」の様子—については、予習用の教材「2.1 テキスト」や「2.2 予習用プリント」にはないため、どのように変化したのか、生徒に考えてもらうとよい。 ③

【2】産業革命の流れ/動き

・産業革命の扱いの範囲については、教科書によって、異なる。本教材では、最初のイギリスの事例に限定した。→「歴Ⅰ-1.学ぶにあたって」8頁参照。
 ・「2.1 テキスト—1.産業革命のきっかけ」「2.2 予習用プリント」に設問あり。 ④

() 内の波線の下線 例: (イギリス)
 () 内に波線の下線があるのは、地名を示す。生徒には、解答のヒントとなる。 ⑤

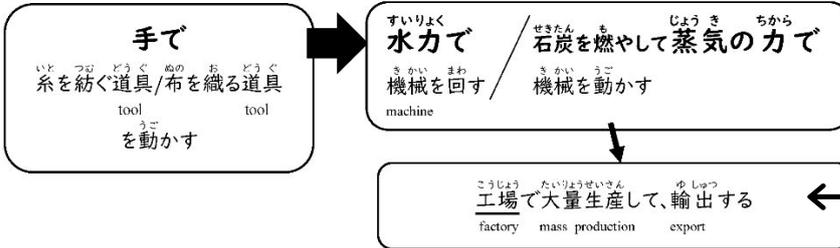
下線つきの漢字 (例: 農村) —「歴Ⅰ-5 漢字テスト」に出題する語句であることを示す。JSL 生徒が学習する日本語教科書では学ばないが、社会科では基本用語である語を対象とする。漢字単独で覚えるより、意味のある文脈とともに覚える方が効果的。→「はじめに0-1 歴史総合について」5頁(4)「5.漢字テスト」参照 小テスト実施のタイミングも(4)「5.漢字テスト」参照 ⑥

英訳 (例: 地域の人 community residents) —辞書をひく時間を減らし、教師の説明やクラスメートの発言に集中できるよう、日常生活で使わない単語や重要な単語には英訳をつけた。わからないことばがあると、すぐに辞書をひく生徒が多い。その習慣はいいことではあるが、弊害もある。辞書を引いている間は、説明や発言に集中していないため、辞書を引き終わったあと、単語の意味は分かっても、話の内容は次に移っていて、授業の流れがわからなくなることが多い。 ⑦

歴Ⅰ産業革命 3.2 ワークシート_答え入り

(2) 技術革新—道具を改良して、前よりいいものをつくる

innovation tool improve
紡績:糸を紡ぐ ← 競争 → 織布:布を織る
spinning thread spin cloth weave



(3) 蒸気のカを使う→運ぶカ・交通が変わる



産業革命後のイギリスからの輸出品

★資料を読み取ろう(歴Ⅰ-4.1)に

イギリスの貿易品目の変化を記したグラフを載せてある

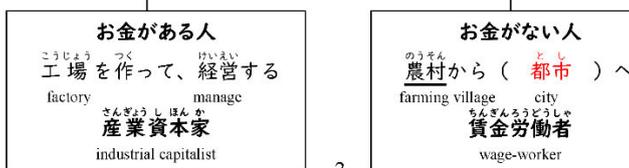
日本語が不十分だと、どうしても先生が説明し、その話を理解することに生徒たちも集中して、アウトプットの活動が不足しがちです。歴史総合の時間にわかったことや意見を発表するのは、生徒にも負担が大きい活動ですが、ワークシートにたくさんの補助を入れていますので、活用して、ぜひ生徒たちがたくさん発言できる授業を行ってください。

⑩ → 【3】イギリスで産業革命が始まった理由

- 工業を始めるお金 = (**資本**) があった
 ・ (**毛**) 織物をつくる伝統があった
 ・ 海外に出る → 大西洋三角貿易 ・ (**植民地**) をたくさんもつ
- 工場で働く (**労働者**) が大勢いた
 ・ 農業の変化で、農業をやめた人が大勢いた

⑪ → 【4】産業革命で何が変わった?

- (1) 人が2つの階級に分かれた → 資本主義



囲み線(例:植民地、階級等) — 「6.1 重要語句説明」「6.2 確認テスト」の対象となっていることを意味する。

【3】イギリスで産業革命が始まった理由

「歴Ⅰ-2.1.テキスト」の「1.産業革命のきっかけ」「2.産業革命とは」の内容を詳しく解説している部分。

テキストの内容理解確認用の「歴Ⅰ-2.2/2.3 予習プリント」の確認問題は以下のとおり。

- イギリスで安い綿織物が大量に作れるようになった理由は何ですか。
- 最初にできた鉄道を動かした力は何でしたか。
- 19世紀のイギリスをなんとよんでいましたか。

⑩

【4】産業革命で何が変わった?

「歴Ⅰ-2.1.テキスト」の「3.経済のしくみの変化」の内容を詳しく解説している部分。

テキストの内容理解確認用の「歴Ⅰ-2.2/2.3 予習プリント」の確認問題は以下のとおり。

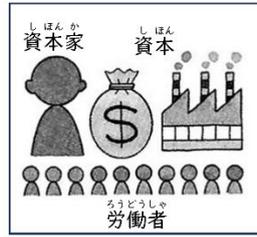
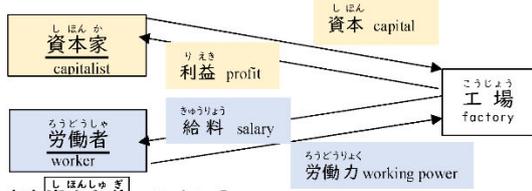
- 産業革命は、産業の変化だけではありません。ほかの変化は何ですか。

⑪

⑫ ↓

歴Ⅰ産業革命 3.2 ワークシート

囲み線(例:資本、資本主義等)―「6.1 重要語句説明」「6.2 確認テスト」の対象となっていることを意味する。 ⑨



(2) 資本主義って、なに?

1. 資本 = 大きなお金
それを使って会社を作る人が**資本家**
2. 工場の労働者に、働いたお金を全部はあげないで
(**資本家**) のところに残す。
3. 前より増えたお金 (= 資本) を使って、もっともうける

⑨



資本主義では、どちらを大切にす

(2) 資本主義って、なに?

「歴Ⅰ-2.1 テキスト-3.経済のしくみの変化―資本主義の発展」の内容を図解で示した。

「歴Ⅰ-2.2/2.3 予習プリント」での関連質問は、以下のとおり。

6.工場を動かすお金=資本を持つ人々を何と呼びますか。 ⑫

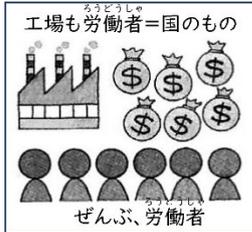
⑬ → (3) 働く人の環境が悪い

1. 働く時間が今よりずっと (**長い**)。(12~18時間)
2. 工場をやめる人、やめさせられる人が**多い**。
3. 働く人が変わった (**女性**) や (**子ども**) も働く

労働者は不満の声をあげる

⑬ → (4) 社会主義の考えが生まれた

1. (**資本家**) がいない = 労働者だけの国
 2. 工場や生産に使う機械や設備は (**国**) のもの = (**労働者**) のもの
 3. (**国**) が計画を作って生産して、みんなに (**平等**) に
- = 金持ちも貧乏な人もいない **平等** な国
(でも、がんばって働いても、金持ちにはなれない)
- この考えは、ヨーロッパ大陸の国々に広がる



社会主義では、どちらを大切にす

(3) 働く人の環境が悪い (4) 社会主義の考えが生まれた

「歴Ⅰ-2.1 テキスト」の「4.資本主義の問題」「5.社会主義の広がり」の内容を詳しく説明している部分。

「歴Ⅰ-2.2/2.3 予習プリント」の設問は以下のとおり。

- 7.資本主義になって、労働者の生活はよくなりましたか。
- 8.資本主義から社会問題が出てきました。どんな問題がありましたか。
- 9.労働者は、生活を守るためにどんな団体/組織をつくりましたか。
- 10.資本主義に対抗する別の新しい考えを何といいますか。

⑬

② ↓

歴Ⅰ産業革命 3.2 ワークシート

Q2：産業革命は、なぜイギリスで始まったのか？

- ・植民地をたくさんもっていて、資本があった。
- ・毛織物を生産する伝統があった。
- ・工場で働く労働者が大勢いた。

Q3：産業革命は、社会や生活をどう変えたか？

- ・資本主義社会ができて、社会の人々が二つの階級（資本家と労働者）に分かれた。
- ・時間と給料で働く社会に変わった。

考えよう—この単元で考えてほしい基本的な課題。JSL 生徒が理解できたことをまとめて書く欄が設けてある。本単元では、ワークシートの1頁と4頁にある。→「はじめに0-1 歴史総合について」4頁「(3)-1.授業用教材-「3.1 ワークシート」③参照 **②**

再掲 歴Ⅰ-1.学ぶにあたって

2.1 学期の最初の時期の授業

最初に扱う教材は、できるだけ多くの生徒が理解できるように日本語も内容もやさしく作りました。1 学期の間は、生徒たちの日本語力の様子を見ながらの授業になると思います。「やさしい日本語版テキスト」を生徒に読ませる（読みの力）、わかったことを発表させる（話す力）、記入したワークシートを確認する（書く力）など、生徒の現状をつかんでください。必要がなければ漢字のルビを取る、漢字クイズのレベルを上げるなど、生徒に合わせてプリントを手直しして、授業を調整してください。

3. 既有知識の違い

世界史に関する勉強を母国でしてきた生徒としていない生徒、中学校の歴史がわからなかった生徒など、状況はさまざまです。「やさしい日本語版テキスト」（歴Ⅰ-2.1）を授業前に配付して、宿題として「予習プリント」（歴Ⅰ-2.1）に取り組むようにして、生徒たちが一定の同じ知識をもって授業に参加できるようにしておくことが有効です。

「やさしい日本語版」で読み取れなくて、かつ英語を学んでいない生徒は、英語版からスマホのカメラ入力機械翻訳で読み取る方法を早いうちに練習させてください。